

決戦下の淨瑠璃人に訴ふ

創刊五十年の誌歴を保つ浪花名物淨瑠璃雜誌はこのたび特にその存在の理由を認められ、資格審議會に於て殘存誌と決定されたり。此の顯著なる恩典に報復する爲には由緒正しき浪花郷土生粹の藝術にして忠君愛國誠情遍滿の淨瑠璃をして一の神皇正統記たらしむる氣魄を以て淨瑠璃人の技術鍛鍊、新境開拓。統後國民思想の昂揚。大東亞新文化の建設及び侵略米英思想の擊滅を期して敢闘するより外なく、これこそ淨瑠璃人の精銳が當に進んで努むべき天賦の職責なりと信ず。

故に淨瑠璃人は常に公正無私道義を經とし風教善習を緯とし、専ら至純至正の感情を詠賦高吟、また同時に新淨瑠璃の創作録成を期し、只管盡忠報國の一途に邁進せざるべからず。之れ則ち文豪近松門左衛門、元祖竹本義大夫兩雄の渾然一致せる大理想なりし也。

續く理想家淨瑠璃完成の大才二代目義大夫（政大夫）降つて淨瑠璃中興の師と仰かるゝ竹本長門大夫等の願望は確かに「故きを温ねて新しきを知る」にありき、時々刻々社會文化と共に進む機刺たる藝術そのものの完遂成就なりき。若し此の思想、勇氣が今日迄間斷なく持續され才技の鍊磨に努力が繼承されてありしならば、徒に古典を誇れる居坐式若くは古典大切の受繼式にもあらず、既に大阪には人形淨瑠璃でなく淨瑠璃人形芝居が少くとも三座鼎立の繁榮を競ひ居るに相違なからん。淨瑠璃人の最重要に考慮すべき根底の精神は實に茲に在つて存するを知らざるべからず。

文化は日進月歩世界は既に五度も十度も推移轉倒變遷しつゝあるにあらずや。學問、軍事、産業を始め人間の氣風、世間の態勢は言ふを要せず。大東亞戰完遂の曉に於ては更に／＼一大變革に逢遇すべきは豫想に難からず寧ろ火を睹るよりも明かなり。此れに對應す

る用意ありや準備も企畫も出來し居るや。共榮團確保擴充の新時代に於ても尙ほ名ばかりの古典藝術をのみ口に誇り満足するか。夫れで時代に對應し得べきか。聖訓「溫古知新」を百讀千誦その深意を研究獲得實効を奏せん事を望む。更に非常時の日本精神充實せる淨瑠璃、大東亞建設の新淨瑠璃、昭和新たな文化の淨瑠璃、思想戰直應の淨瑠璃とは如何なるもの歟。徒に高唱放吟、聲量を誇示し腹力を自慢するが如きは恰も呼吸して居ながら何を呼吸して居るかを知らざる者なり、空氣呼吸と教ゆるも目に見えざれば空氣なるものなしと強辯する者と擇ぶ所なし。賢明なる淨瑠璃人には斯る無感覺者のあらざる事を信ずるも此の決戰段階に直面し、物質文明兇畜の米英思想撲滅戰に音頭を取る神國日本の皇民は英文英語を國外に放逐し大東亞共榮團内は皇國邦語を以て縱橫無盡に飛躍活動、神武天皇即位し給ひし紀元節を以て一月一日と世界に觸出し、貨幣その他メイトル法は總排斥、尺貫法その他總て皇國方式稱呼を實施し、教育習慣は日本の國風を教へ込み大東亞の天地は亞細亞十億民の愛國心に依つて守護し改善進歩理想的樂土の構築に奮勵努力誘掖補導するは淨瑠璃人が君國に對し又斯の道に對する最大の奉公なりと信ず、從つて教育、技能、道義感念これに對應する施設の要あるべし、斯道家たる者その用意ありや準備整頓せりや。戰爭完遂を待つ迄もなく直に之れが實踐行爲に移すべきなり。

而して其の基礎としては、第一淨瑠璃創作（文化日本の尖端を走るもの）。第二作曲（米英吳を交へず純日本の發音發聲）。第三人形（辰松八郎兵衛式の進歩せるもの）これらを以て大東亞文化新建設の指導主日本帝國の國策翼賛の責務を盡せざれば昭和文化的な新日本最高藝術家とは稱し難し。淨瑠璃協會、日本因協會等に準備ありや成算ありや。國費多端の内より下附されたる獎勵補助の恩恵は如何なりしぞ、津大夫が生前語りし銀行預金は無事現存し居るや。明朗に淨瑠璃精神を示せ。